

激動する東アジア！安倍政権を打倒しよう！

変えよう日本の進む道！ 6・23京都集会

2017年ろうそく集会(韓国)

アジア共同行動・京都は6月23日(土)、韓国から闘う仲間を迎えて、アジア共同行動京都集会を開催します。すべての皆様のご参加を呼びかけます。

日時：2018年6月23日(土) 14時～17時

会場：東山いきいき市民活動センター 2F集会室

【韓国の代表から】

激動する東アジア情勢とローソク革命のこれから
基調提起と各団体からのアピールなど

資料代 700円

主催 アジア共同行動・京都

事務局(090-1590-9469)

●東アジアの平和への歴史的転換点をおし進めよう！

戦争の危機が高まっていた東アジアの情勢は、いま劇的に変化しようとしています。平昌オリンピックへの朝鮮民主主義人民共和国(以下、朝鮮)の参加から対話の流れが生みだされ、4月27日には朝鮮半島南北の首脳会談、5月から6月には初めての米朝首脳会談が開催されます。しかし、トランプ政権や安倍政権は、この対話の流れがとん挫すればいつでも朝鮮

を武力攻撃できる態勢を維持し、過酷な制裁措置を継続しています。まさに武力で朝鮮を威嚇し、「白旗を掲げて出てこい」と言わんばかりの態度です。

このような日米の政権と対決し、東アジアの平和への歴史的転換点をいまこそつくりだしていかなければなりません。朝鮮戦争を終結させる平和協定の締結、在韓米軍を含む東アジアからの米軍総撤収を実現し、

朝鮮半島南北の自主的平和統一に支持・連帯しましょう。

この間の対話の流れは、戦争を何としても避けたいという朝鮮半島南北の民衆、東アジアの民衆の平和への願いを反映するものです。とりわけ、「ローソク革命」をもって朴槿恵政権を打倒した韓国民衆の闘いが切りひらいてきたものでした。まさに民衆の闘い

こそが歴史を前に進める原動力であることを示す事態でした。韓国民衆は、米韓合同軍事演習に反対する「平和のローソク」行動やTHAADミサイル配備阻止闘争に取り組み、貧困と格差がますます拡大する韓国社会の変革にむけて闘いつづけています。韓国民衆との連帯を強化し、東アジア情勢の歴史的転換にむけてともに闘いましょう。

●安倍政権打倒！変えよう日本の進む道

私たちの課題は、東アジア情勢の歴史的な転換を安倍政権の打倒、日本社会の変革と結びつけていくことにあります。安倍政権はいま、森友・加計問題や自衛隊日報問題などで窮地に立っています。安倍政権の打倒は火急の課題です。しかし、安倍政権が崩壊したとしても、同じ道を進む新たな政権が登場することも絶対に許すことはできません。

その第一の焦点は、集団的自衛権にもとづく自衛隊の海外派兵と対決し、憲法改悪を阻止することです。安倍政権は、「戦争をする国」へと日本を根本的につくりかえようとしています。その真の目的は、ますます増大する日本の多国籍資本の海外利権(土地・工場・鉱山・市場など)を自らの軍事力によって防衛できるようにすることにあります。いま日米同盟においては、米軍と自衛隊の一体化が急速に進行し、沖縄から台湾・フィリピンに至る「第一列島線」の防衛を自衛隊が主に担う方向で再編が進められています。まさに自衛隊の銃口がアジアの民衆に向けられるなかで、私たちは戦争の被害者になることも加害者になることも拒否します。

その第二の焦点は、日米両軍の出撃拠点となる基地の新設・強化と対決し、また核武装の準備と結びついた原発再稼働を阻止することです。安倍政権は、辺野古新基地建設のための本格的埋め立て工事に着工し、翁長県政の打倒をもって一挙に新基地建設を推進しようとしています。これと対決し、辺野古新基地建設を阻止することは日本の反基地運動の将来を決する闘いです。この近畿地方においては、京丹後の米軍Xバンドレーダー基地撤去の闘いを推進し、また若狭の原発の廃炉に向けた闘いを推進していきましょう。

その第三の焦点は、貧困と格差を拡大し、残業代なしの過労死を強制する安倍政権の「働き方改革」と対決することです。ますます多くの労働者が貧困に苦しみ、憲法に保障された団結権、団体交渉権、争議権すら奪われてきています。貧困と無権利を強制する安倍政権と対決し、人らしく生きられる社会へと変革していくためにともに闘いましょう。

●6・23 京都集会への結集を！

6月23日の集会では、韓国の仲間から激動する東アジア情勢のもとでの民衆の課題を提起していただき、また「ローソク革命のこれから」を提起していただきます。そして、さまざまな闘いからのアピールをうけて、安倍政権の打倒、日本の進む道の根本的な転換にむけて、さらに力を結集していければと願っています。ぜひご参加ください。

